

## 第40回総会 待ってます!

年に一度の総会が7月14日  
(土曜日)に開かれます。

卒業後30,35,40,45年という節目の方々が、  
楽しい企画を進めています。ぜひご出席下さい。  
(詳細は2ページに)

- 【日時】 7月14日(土曜日)  
14時 受け付け開始  
15時 総会開会  
16時 懇親会開会(18時閉会予定)
- 【会場】 如水会館 千代田区一ツ橋2-1-1  
☎03-3261-1102
- 【会費】 一般 8,000円 学生 無料



- 【交通】 ●神保町 下車歩3分(都営三田線・新宿線・営団半蔵門線)
- 竹橋 下車歩4分(営団東西線)

# 母校に LAN 実現

ローカル  
エリア  
ネットワーク

## PC募金

### 目標へあと一歩 母校のIT化へ動き出す

本校百周年記念事業の一環として、関東同窓会が掲げた「母校にパソコンを贈る200万円募金運動」は5月10日まで187万円を突破、目標達成にあと一歩へ漕ぎ着けた。

本会の同窓会も共同して記念募金から400万円の支出を決め、昨年暮から工事にかかり、サーバー、パソコン27台(同窓会館の5台を含む)を導入、先生方も

関東同窓会が独自事業として始めたパソコン贈呈運動に、本部から協力の申し入れがあったのは昨年の11月。百周年事業募金の余剰金の使途を検討した結果、関東同窓会の計画に参加したいという結論になり、問い合わせしてきた。執行部会で協議した結果、より充実した設備が可能になるとして本部の申し入れを受け入れることを決めた。

別表参照。

AN敷設に汗を流し、1月下旬に各研究室をつないだLAN体制が開始した。3月30日には本部と関東同窓会の代表を招いて披露式が行われた。(写真)



厳しい経済情勢の下で、本部の記念事業への募金に続く募金運動とあって当初は懸念されたが、会員の皆さんのご協力によって成果が得られたことに、執行部は感謝とお礼を申し上げたい。学校では既に受験状況の分析などに使われ、生徒たちも大いに活用し、大いに感謝していると

## 今年は

### 拠点確保検討へ

新年度の委員会を設置、研究を活動計画に進めることにしたい。また、メールを活用できるよう、独自のホームページを開設したのを機に、本部や学校などとの願の拠点確保に向け、リンクに積極的に取組んでいきたい。

## 関東の発案に感謝の声

去る3月30日、母校の校内LAN(パソコンによる構内ネットワーク)完成披露と見学会があり、松井由美副幹事長と参加しました。昨年2月の関東同窓会幹事会で提案された運動が実り、県下の高校でも有数の設備が整ったことは百周年記念事業の中でも最もふさわしい事業になったと思います。本部の協力、厳冬期に先生方が長さ3キロに及ぶ回線敷設に自ら参加されたことも特筆されます。



披露会の席では金子実行委員長、猪熊校長先生はじめ多くの方から「このような設備ができたのは関東同窓会の発案があつてこそ。本当に良かった。会員の皆様によりよく伝えてください」と感謝されました。

(堀内忠久・記)

▲ネットワークの中心になるサーバー

# 第40回総会

## ●ご案内●

実行委員は、卒業後30,35,40,45周年の期の方々をお願いしています。  
今回は54、59、64、69期が担当します。

### ●●式次第●●

7月14日(土) 於 如水会館(東京・神田・一ツ橋)

**第一部 定期総会** 会長挨拶／定例議事／講演

講演者 74期 保屋野 初子氏(フリージャーナリスト)

**第二部 懇親会** 来賓挨拶／大会実行委員長挨拶



保屋野さんの  
ご紹介は、  
7ページにあります。

### ●●平成12年度会務報告案●●

- (1) 第39回総会開催 12年7月1日 如水会館：230人参加
- (2) 母校百周年記念事業への協力(10.7記念式典など)
- (3) 母校へのパソコン贈呈200万円募金活動
- (4) 会報の発行(64号、65号)
- (5) 関東同窓会名簿発行作業
- (6) 母校へのOB著作寄贈(52期小山堯志氏、55期秋山弘志氏、58期栗原裕氏、64期荒井裕司氏)
- (7) ホームページ(登録430人)
- (8) 県同窓連、東信同窓連への参加
- (9) 年会費納入561人、運営基金33人36万円

平成12年度決算報告(案)

12.4/1~13.3/31

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差額	科目	予算	決算	差額
前期繰越金	3,639,946	3,639,946	0	大会費	1,500,000	1,241,154	-258,846
大会費収入	1,800,000	1,632,000	-168,000	会報費	2,300,000	2,523,582	223,582
会報広告料	300,000	160,000	-140,000	交通費	100,000	65,620	-34,380
年会費収入	2,700,000	2,378,000	-322,000	通信費	120,000	87,510	-32,490
会議費収入	300,000	365,000	65,000	会議費	600,000	688,158	88,158
雑収入	100,000	155,000	55,000	渉外費	200,000	416,580	216,580
受取利息収入	0	952	952	印刷費	100,000	40,162	-59,838
記念事業収入	0	1,787,000	1,787,000	事務費	200,000	136,289	-63,711
(小計)	5,200,000	6,477,952	1,277,952	雑費	80,000	55,560	-24,440
				記念事業費	0	2,000,000	2,000,000
				(小計)	5,200,000	7,254,615	2,054,615
合計	8,839,946	10,117,898	1,277,952	次期繰越金	3,639,946	2,863,283	-776,663
				合計	8,839,946	10,117,898	1,277,952

(注) 記念事業費は、創立100周年記念事業として母校にパソコンを贈呈したものである。

平成13年度予算(案)

13.4/1~14.3/31

基金特別勘定

13.3.31現在

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	2,863,283	大会費	1,300,000
大会費収入	1,800,000	会報費	2,400,000
会報広告料	200,000	交通費	100,000
年会費収入	2,500,000	通信費	100,000
会議費収入	300,000	会議費	600,000
雑収入	100,000	渉外費	200,000
受取利息収入	0	印刷費	100,000
記念事業収入	200,000	事務費	200,000
(小計)	5,100,000	雑費	100,000
		(小計)	5,100,000
		次期繰越金	2,863,283
合計	7,963,283	合計	7,963,283

一般会計・特別会計総括表			
科目	金額	科目	金額
現金	406,281	運営基金	10,999,600
普通預金	113,854		
郵便振替	2,832,460		
定期預金	10,510,288	次期繰越金	2,863,283
合計	13,862,883	合計	13,862,883

(注) 記念事業収入は、前期に実施したパソコン贈呈事業の本年度受け入れ見込額である。

### ●●平成13年度会務計画案●●

- (1) 第40回総会  
13年7月14日(土)  
54, 59, 64, 69期が当番期
- (2) 会報の発行  
65号 6月上旬  
(広告担当63、65期)  
66号 11月下旬  
(広告担当65、66期)
- (3) 活動拠点確保に向けての検討委員会設置  
(共同法人問題、本部との調整など)
- (4) 独自ホームページ開設の検討、内容強化
- (5) 年会費納入率の向上
- (6) 母校へOB著作を贈る運動
- (7) 各同窓連との親睦交流

●●平成12年度決算報告案・平成13年度予算案●●

# 特別企画 座談会と寄稿による 母校・証言の百年



## 連載第四回 変化への序曲

中学区制が導入されて、入学してく  
る生徒の地域が変わったのが、昭和49  
年春から。古い木造校舎が取り壊され  
て、鉄筋への改築が始まったのが、翌  
50年。最後の座談会は、新しい時代へ  
と移っていく変化の時代を最後の木造  
校舎で過ごされた皆さんの集いとなっ  
た。(文中敬称略)

### 出席

- 武重玲子 (69期) 獨協大学→米国の大学・大  
学院に留学・米国に留まりナイキ等の会社  
勤務を経て現在ストック・トレーダー
- 小林清隆 (71期) 明治大卒・明治ドレスナー・  
アセットマネジメント (株) 投資運用部
- 大場英昭 (74期) 神戸大卒・(株) ジャパン  
エナジー 基本理念推進本部
- 春原一道 (75期) 信州大卒・社会福祉法人嬉泉  
子どもの生活研究所
- 宮島光男 (55期) 東京外大卒・共同通信OB  
(関東同窓会幹事長)
- 井上 剛 (61期) 東大卒・学研・本誌編集長

宮島 皆さん、卒業してから25年から30年  
経っていると、忘れていたことがあると思  
います。まずそれぞれの思い出からどうぞ。  
武重さんは、5月の連休を日本でと、昨日  
アメリカからお帰りになつたばかりですが。  
武重 私は日本を離れているので、皆さん  
よりも忘れていたことが多くかもしれませ  
ん。私の頃はまだ大学区制で、クラスに女



子は5人でした。体育の授業をよく覚えて  
います。男子と一緒にできなかったですが、  
バスケットの時は、「ゴールの下で待つて  
いる、女子が入れると5点だ」とか、サッ  
カーの時は、「女子は手を使っていいぞ」  
とか、おもしろいルールにしてくださいま  
した。でも、サッカーやハンドボールは男  
子と一緒に走り回っていると、変なところ  
にさわってしまったりしてワツという感じ  
がする時もあったり(笑い)。水泳は同じ  
距離を泳がなければならぬので、たくたく  
にくたびれてしまつて…。  
小林 僕らの頃もそうでした。サッカー、  
女子が入れると3点でした。  
武重 英語の時間、教育実習でしょうか、  
女性の先生が来たこと  
があつた。いつの間に  
かとなりのクラスの男  
子がジョインして授業  
を受けていました。私  
は英語班でしたが、シ  
エークスピアのオールディングクリッシュを  
やっていて、今考えるところであんな役  
に立たないものやっていたんだらうと思  
います。私の時は、「ロミオとジュリエット」で、私がジュリエット役。「どう  
して私が？」と聞いたら、「おまえしはい  
ないんだよ」。先輩がコーチしてくれるん  
です。けど、ロマンチックな劇なのでラプシ  
ードがある。キスをするシーンで、「誰も  
経験ねえから困つたな」(笑い) オリビ  
ア・ハッセルの映画が出た頃なので、やっ  
たときは好評だったんですが、ロミオがジ  
ュリエットを抱きかかえていくシーンで  
は、「先輩すみません、ジュリエット重く  
て持ち上がりません」なんて、今考えると  
傑作だった思い出があります。  
私は2年の時、父が事故で亡くなりました  
。その時も、父を亡くした先輩が僕の時

はこうだったと手紙を出してやさしくして  
くれて、それを今でも感謝しています。一  
家のリーダーが亡くなったので、これから  
どうなるのかなという不安な時期だったの  
で…。それまで何一つ不自由なく育つてき  
た普通の女の子が家族の気持ちとか自分の  
意志とか考えて、いろいろ意識的に変わっ  
て行つた。その頃から独立心が出てきたの  
だと思ふ。大学3年の時に奨学金をもらっ  
てアメリカに留学しました。その大学を卒  
業後大学院に進み、ナイキとコンピュータ  
の会社を経て、今は自分の資金を使ってス  
トックトレーディングをしたり、トレード  
の仕方を教えています。ナスダックの株と  
か…。  
小林 じゃあ、僕と同じだ。  
武重 ええ、小林さんの名刺を拝見して興  
味を持っていました。  
小林 いろいろ教えて下さい(笑い)。  
宮島 高校時代の勉強で役立ったことはあ  
りましたか。  
武重 英語は結構やりましたね。あとは世  
界史とか。生物の金子先生が、今日は顕微  
鏡で皮膚を見るから、誰かかさぶたの取れ  
そうないのないか、とか言つて皮膚を集め  
て見た思い出がある(笑い)。担任は安江  
先生。地理の先生です(笑い)先生だった。  
小林 私を唯一誉めてくれた先生。野球部  
だということに優遇してくれた。  
武重 父のことも心配してくれて奨学金が  
もらえるようにしてくれました。ところで、  
マラソンはありませんでした？  
小林 ありました、ありました。競歩大会。  
須川湖一周して丸子の方まで行つて帰つて  
来る。途中電車に乗るといふのもしましたが。  
武重 私達は、表示が悪くてずいぶん遠回  
りしました。応援歌の練習は並ばせられて  
こわかつた。でも、かっこいいなと思いま  
した。



▲木造時代の部室。新聞班、文芸班、吹奏楽団の3軒長屋

もうやってられないと。勉強する時間もないし。夏休みも2日ぐらいしかなかった。あとはずっと練習。私自身は、クラブ活動やっている奴は応援練習しなくてもいいということが入ったんですが。バスケットは私が入った頃が絶頂期で、入学する前の3月頃全国の選抜大会に行っているんです。試験に受かった3月にテレビを見ていたらやっていて、あつ上田は強いんだと思いました。新年度になってからもインターハイに行くのは確実と言われていたけど、県大会を一回戦で負けた。油断だと思っただけ。それから地獄の特訓が始まったんです。教育大や慶応に行つて学生リーグでやっている先輩が夏休みに毎日来てくれて、一緒にやつてくれたんです。練習メニューを作ってきてくれて。練習の間はいやだっただけ、終わってみれば秋には強くなっていった。新人戦で東信で優勝。翌年3年は4人、2年は5人しかいなかったがその9人でいつも一緒に練習。休みは年間10日なかつたです。そして県大会で2位になってインターハイに行った。当時は2校行けたので。その時初めて飛行機に乗って福岡に行った。

武重 チームスポーツというのはすばらしいと思う。人とぶつかり合つてリーダーシップとか、競争心、協調性とか社会で学ばなければならぬものをスポーツを通してしかも若いときに学べる。

大場 当時はそういう認識はなかつたけどそうかもしれない。

武重 外から見るとそう感じる。アメリカの学生は小学生の頃からサッカー、野球など熱心にやる。親も見に行く。ボーイスカウト、ガールスカウトなども盛んで、社会の一員だという認識、社会生活に必要な知恵が自然についてくる。



大場 今では笑つて酒飲めるけど、当時はあの先輩が来ると皆青くなるというのがありましたね。バスケットでは、ルーズボールと

いってパスミスとかシュートが入らなくて転がっているボールなんです。これに

がって練習をやらされる。先輩が投げるボールを追いかけて取つて投げ返して帰ってくる。コートの中にあるうちに追いつかないと大変。また、ツーメン、スリーメンといつてパスをする人はパス、ボールをほしい人はボールと言いながら端から行ってシュートして帰ってくる。ところが声が小さいと「リビート」となる。

やり直しです。体力がない人とかがどこかでへたつてしまつともう止まらない。リビート、リビートです。

でも、先輩は当時大学リーグでやっていた人達です。そういう先輩が来て指導してくれたということは感謝しています。普通の人ならば、バイトとか旅行とかしたい頃ですものね。

### ●思い出の太郎山



小林 野球部の練習の思い出は、冬場のラシニング。太郎山に走つて登つた。一時間で登つた。山口のリング園まではグツシユで行つた。一位はいつも丸山さん。僕が3位だった。キャプテンの渋沢さんが、「今日は太郎山」というとドキツとした。千曲公園とか坂城とかの時もあった。冬場はボール握れないので。

今、時代を感じるのには、同期の子どもが母校のエースになったこと。たまたま母校に行つてそのエースに会つた。昔のおやじにそっくりでびっくりした(笑)。

井上 社会に出て、「上田」を感じることはありませんか。

小林 はい、人に会うたびに自分は上田の出なんだということがいつも頭にあります。「3年間石の上のつた」というのも自負です。そしていつでもキャッチボールの精神を忘れないようにしています。それは相手の取りやすいボールを投げるとのこと。僕はシュートだけど、ファーストには暴投するなどキャッチボールの時から心掛けていた。これは社会そのものです。息子にもそれだけは言っている。また、先ほどのエースの親父は2墨の田中君だけと一緒によくダブルプレーとつた。スローイン

井上 応援はよく行きましたか。

武重 ええ、行きました。

宮島 その頃は強かったですか。

小林 弱かったです。自慢じゃないが。野球部は、最初に甲子園に行ったのが昭和32年、二度目が63年ですから、ちょうどその中間の一番弱い頃。1年で入部したのが10人、残ったのが5人。だから、1、2年生だけの秋の大会は10人カスカス。野球部の歴史でも部員が一番少なかった頃です。

### ●今ではありがたい先輩の特訓

大場 私はバスケットですが、一緒に入つたのが15人もいたのですが、夏合宿終わつたら5人でした。夏休みの合宿で、これは

す。教育大や慶応に行つて学生リーグでやっている先輩が夏休みに毎日来てくれて、一緒にやつてくれたんです。練習メニューを作ってきてくれて。練習の間はいやだっただけ、終わってみれば秋には強くなっていった。新人戦で東信で優勝。翌年3年は4人、2年は5人しかいなかったがその9人でいつも一緒に練習。休みは年間10日なかつたです。そして県大会で2位になってインターハイに行った。当時は2校行けたので。その時初めて飛行機に乗って福岡に行った。

宮島 羽田から?

大場 いや、夜行で大阪まで行ってそこ

わかったものです。仕事でもこれは同じです。

大場 O Bのつながりも結構ありますよね。人間のつながりはありがたい。

宮島 バレー部が母校100周年を機に記念会をやったようですね。

大場 バスケも去年創部50周年をやった。記念行事もやり、本も発行したんですよ。

### ●校舎改築の頃

宮島 校舎の改築が始まったのは春原さんが入ってからですか。

春原 私が入った時は古いままです。2年の頃校舎が壊れていく様を見ながら学びました。私達は3年の後期に新しい校舎に移った。でもあまり記憶がない。思い出はやっぱり古い校舎の中で。当時上田病院の先生が、ご自身のカメラで壊れていく校舎を撮られていた。趣味のライカのカメラを駆使して。(森澄夫著「写真集古城の門」を見ながら) ほら、ここに僕の名前があります。

小林 黒板、懐かしいですね。

大場 本当、ぼろぼろでしたよね。生物の方、一番端っこの棟、走っていてよく床がぬけたりした。

宮島 百年史に「突然の計報」とあるのは？

大場 それは橋爪君といつて1年の夏休み近くまでバスケットやっていたんですよ。隣のクラスでした。

宮島 それで、難病に？

春原 僕たちも記憶しています。雪の日に雪玉を投げたら腕が折れて、それで東大病院に入院されて、悪性の白血病でお亡くなりになった。すごく衝撃的で、先生も涙を流して…。

亡くなる時に日記を書いていて、いろんな自然の風物、風景なんかが新鮮な澄んだ目であふれるように書かれていて、人間というものは死の瞬間まですごいものなんだよ

ということをおっしゃいました。74期の方が「松籟」にも寄稿されています。

宮島 そうですか。春原さん、クラブは？

春原 美術班です。でも、ほとんど「話術班」だった。部室は食堂の奥、ギター・マンドリン班の隣。

宮島 その頃ギター・マンドリンはよかったですか。

春原 ええ、NHKに出たりとかしていました。

宮島 中学区制になったのは？

春原 ちょうど僕らの頃からです。更埴、上山田、南北佐久、望月、小諸がだめになった。北御牧、東部はOK。

宮島 いろいろ波紋はあったんでしょう。

春原 ええ。中学の頃から動揺していた。1、2年の頃から上田だと言われていた人達も、いったい何人まで広がるんだろうかと。入った後は、先輩の目も厳しく、今年の上田高生は…、なんて言われたり。上田高校の先生方も、駿台とかの偏差値に左右されずに自分の判断で指導されていたプライドをお持ちだったけど、「君たちには通用しない」とか。

井上 女子も増えた？

春原 いえ、クラスで5人から9人に増えただけです。

井上 そうか、半々になるのはもつと後なんです。服装は？

大場 もう自由だったですよ。剣道、柔道の武道系と野球部はガクラン着ていた。

小林 野球部には下駄の人もいましたね。

春原 上田高校の通学路の人たちは8時のドラマでボリュームを上げる、という伝説を聞いていました。下駄の音で。

宮島 印象に残っている先生は？

春原 漢文の田子先生。退任されるとき、上田付近の漢学者の話がされた。退任の挨拶の時はブライングをとばすが僕らの時

代だったが、先生が話すシーンとしちゃった。「田子の浦 うちいでてみれば ばかどなられる」(笑い)。

大場 わりと迫力ある授業でしたね。

小林 白文予習して来いといわれる。教科書はレ点とか付いていたけど、付いていないやつね。で、やって来ないとかかなり怒られました。

大場 戸田先生の倫社もおもしろかった。倫社は難しいけど授業はおもしろかった。試験は難しい論述式で2問しか出ない。カントについて書きなさいとか、だれだれの何々論について述べよとか。

春原 僕たちは政治経済を習ったけど、1年に入っている限りなりマックススウェーバーの「職業としての政治」。やっぱ上田高校はすごいんだと思いました。

小林 そして上田のレベルを感じたのは、同級生にすごいやつがいるということ。数学をスラスラ解き明かす能力、これにはびっくりした。

春原 美術班にも一人すごい人がいた。今、国立神経センタりの保健室長の花岡さん。高校時代にサルトルを読んでいた。1年目東大を受験。確か文系だったのに2年目は京大の医学部に入った。予備校に行っている間に文系から理系に変わってしまったんですね。みな開いた口がふさがらなかつた。今、PTSDといって心的外傷後ストレス障害、地下鉄サリン事件や神戸大地震等に遭遇した人達の心の傷

の問題ですが、これに関して一般の人にもわかりやすいマニュアルを近々発行するとメールが来ていました。

宮島 春原さん、今のお仕事は？

春原 子どもの生活研究所という自閉症の福祉施設です。生まれつき脳に障害があつて、人とのコミュニケーションがとりにくい、身体接触も過敏、生まれたときからコミュニケーションが欠落しているという皆さんの福祉施設。高機能自閉症といって知的レベルは高いけど自閉症だとか、最近急



▲解体される校舎

激に認識されてきた分野です。大学3年の時に特殊教育を取り始めて、それからこの分野に。今は福祉系の大学多いけど、当時上田の人はほとんど行かなかったですね。井上 春原さんに「上田」は、どのように生きていますか。

春原 去年の秋、子どもたち連れて行って、「これがお父さんの学校だよ」と言ったら、9才と6才の子が、「お父さんはお城を出たの？」(笑い) 私は文化系ですが、書を読み、青臭いながらも仲間と熱く議論したことが今の自分を支えています。美術班では、二科展、日展、あるいはルオーの作品にふれました。当時上田駅から早朝東京まで展覧会に行ったことを思い出します。人生の多感な時期にこうした文物に出会えたことは懐かしい思い出です。ルオーの「ミゼレール」を自分の人生の教科書にするこ

ともになりました。昭和50年か51年、松尾祭では演劇班がカフカの不条理劇にチャレンジしていました。題名は「誤解」です。当時実存主義の哲学にふれ、サルトルやカミュなどを理解できないまでも必死で読み、その作品について語り合いました。本当に自分の思想なのかと本気で叱ってくれる先輩がいたことも大切なことです。「自分で考え、体験して自分の言葉で語れ」と先輩には叱られていました。今福祉の仕事の中で、いつも人間の幸せとは何かと考えさせられる場面に遭遇します。生まれながらに障害を持つ人がこれから学校、社会の中でその人の幸せを感じて生きていくお手伝いをするには何をなすべきか考えます。シジフォスの神話(カミュ)のような不条理に満ちた世界の中で本当に自分の非力も感じます。しかし、私は、上田高校時代に自由で、思いやりがあり、友人を大切にす校風にふれなかつたら、人生での挫折や苦しみに共感し

て生きていくという今の道に入らなかったと思います。上田はすごく自由な学風だったので、組織の中で生きていく上でもどうやって自分を生かしていくか、気持ちのバランスの取り方が鍛えられたような気がします。

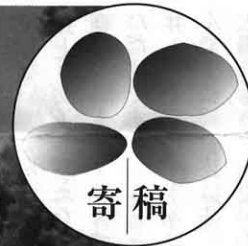
宮島 自己責任ということですね。春原 確かに自己責任ということが一番です。井上 今回は、「変化への序曲」というタイトルでしたが、自由な校風や、思いやり、キャッチボール精神等が現在も息づいてい

らにしたり…。ところろが、当時我が中学にはローラーがなかった。「女学校で先生をしている先輩に頼んであるから借りて来てくれ」と体育委員氏に促され、4人ほどで女学校に乗り込んだ。女学校の校内へ、上中の生徒が表門から入ったのは恐らく初めてのことだったろう。女子生徒はちやうど退校時間で、むくつき男の子の侵入に目を丸くしていた。直径70cmぐらいの石(あるいはコンクリートだったか)のローラーを上田東駅から海野町、大門町と続く大通りを、素足で(当時は運動靴などというハイカラなものはなく、下駄履き通学だった)ゴロゴロと引っ張って学校まで運んだ。

## 終戦後初めての運動会

47期

土屋 博・記



終戦後2年足らずの昭和22年、食べ物もろくにない時代だったが、私達の5年1組は勉学の方はともかく何故か元気がよかった。1学期の級自治会で「運動会」を開かせて欲しいと決議した。私は自治委員だった立場上やむをえず、体育科の主任だった宮坂仁吾先生にお願いにあがった。

先生のご尽力で「全校の生徒自治会の主催」ならということに許可があり、その年の秋に戦後初めての運動会が行われることになった。学校は運営にあま

半世紀以上前のことで、返しに行つた記憶が欠落している。今でもあのローラーはどうなつたかと、心配になることがある。さらに、運動会の当日出し物をと計画したのが写真の「古今名コンビ」と銘打つた仮装行列。よく見てください。髭もメイクも本格的ですよ。

敗戦後2年目という時期を考えると良くやつたなと、我がクラスの事ながら感心している。寡聞にして、当日先生の胸上げがあったとは聞いていないし、言いだしっぺとしては、なかつたと信じている。

言いだしっぺの二組は責任を感じて、放課後、中心になって校庭の整備などをした。校庭の一部は戦時中に掘り起こされて菜園になったりして、荒れ果てていた。石ころを拾ったり、平

当節17才が話題になつてい



70期

丸山 清光氏

(朝日新聞社)

販売局・部長)

丸山さんは上田高校時代ピッチャーで、渋沢さんとバッテリーを組まれた。お二人は六大学に行つて、丸山さんは明治のキャプテン、渋沢さんは東大のキャプテンになられた。同時に二人というのは珍しいことでしょうか？

丸山 ええ、なろうとしてなれるものではないです。部員は100人ぐらいいますから。

高校時代、太郎山へのランニング、いつも丸山さんが一位だったと座談会で小林さんがおっしゃっていました。



丸山 ピッチャーですかね。ピッチャーは一番強くなければいけない。だからしょうがないですね。これは明治に行つても続くわけです。練習は本当によくやりましたね。でも、ああいうふんばりが色々なところでどこかで生きるわけですよ、おそらく。大学終わった後、今仕事やっていますけど、そういうの生きてますね。

上田と明治は関係あるのですか？

丸山 明治時代の早慶戦の第1回戦に慶応の選手の中に二人上田中学がいる。桜井弥一郎氏ともう一人。早慶戦の最初の試合に二人いたということは、これはすごいことなんです。そういう関係で、上田高校には慶応がずっと夏のコーチに来ていた。それが明治になったのは明大の名物だった島岡監督と上田の木村監督の縁が元なんです。

島岡さんは飯田の生まれ。野球は高小時代しかやったことがない。後はずっと応援団の世界。この人に高小時代に野球を教えたのが木村先生。飯田の神主さんでもあった。この人は飯田中学から國學院に行つて先生になった人で、松山商業と中京商業で甲子園全国制覇した。特に中京商業は夏の大会3連覇で、これは今絶対ないこと。この人が、上田松尾に来て3年計画で甲子園にやつた木村監督です。島岡さんは大学に明治稲荷というのを祀つていて、毎年2月の初午には神主さんとしての木村さんをよんで祝詞をあげてもらつて、孫みたいな我々に「この人が私に野球を教えた人だ」と紹介するぐらいでしたから、木村・島岡のつきあいはずっと続いていたので、木村さんが上田の監督になった時に、島岡さんが夏のコーチを慶応から明治に変えたのです。

島岡御大は我々の世代には懐かしい人ですよ。

丸山 勝つことへの執念はすごかった。それ以外は人間の教育で、文字を書くことをすごく大事にしましたね。練習の日記や観戦日記を書かせた。観戦日記は、神宮に行つて次の対戦相手の試合を見させて全員に書かせました。感想でも、対策でもいいし大学ノートに書いて出さないといふ。みんな書いた。僕ははじめにやつた方。すると、朝日の運動部長のところを持つていく。当時の広岡社長のところにも持つていって、一生懸命書くし使えるから使つてくれないかと頼み込んでいます。漫画みたいな世界。

でも、今日「朝日の丸山」があるのは、そういうのがあるのです。

丸山 いや、ありますよ、本当に。(笑い)丸山さんは江川からもホームランを打っていますね。丸山 江川は2年下。私が4年の時、昭和50年春秋明治は優勝しているんですが、その前後はずっと法政の時代。江川を破らなければ優勝はないと。それで徹底した江川対策をやつた。よく講演会でこの話をするんです。どうやって江川を負かせたか。これがうけるんですよ(笑い)。それはデータなんです。江川のボールは7割が高め。そこで、そのうち半分がボールになると仮説を立てて、高めの球を見送ることにした。僕と島岡さんで決めました。マネジャーが「江川の高めのボールを捨てろ」と檄文をかいて、合宿所の壁にべたべたはつて、後は一週間高めの球を見送る練習。実際に試合では高めのボールを振りませんから、フォアボールが出る、塁が埋まってくる。江川も考えます、低めに投げようと。でも練習してないからボールに力がない。こちらの思うとおりでした。

丸山 勝つことへの執念はすごかった。それ以外は人間の教育で、文字を書くことをすごく大事にしましたね。練習の日記や観戦日記を書かせた。観戦日記は、神宮に行つて次の対戦相手の試合を見させて全員に書かせました。感想でも、対策でもいいし大学ノートに書いて出さないといふ。みんな書いた。僕ははじめにやつた方。すると、朝日の運動部長のところを持つていく。当時の広岡社長のところにも持つていって、一生懸命書くし使えるから使つてくれないかと頼み込んでいます。漫画みたいな世界。

丸山 勝つことへの執念はすごかった。それ以外は人間の教育で、文字を書くことをすごく大事にしましたね。練習の日記や観戦日記を書かせた。観戦日記は、神宮に行つて次の対戦相手の試合を見させて全員に書かせました。感想でも、対策でもいいし大学ノートに書いて出さないといふ。みんな書いた。僕ははじめにやつた方。すると、朝日の運動部長のところを持つていく。当時の広岡社長のところにも持つていって、一生懸命書くし使えるから使つてくれないかと頼み込んでいます。漫画みたいな世界。

丸山 勝つことへの執念はすごかった。それ以外は人間の教育で、文字を書くことをすごく大事にしましたね。練習の日記や観戦日記を書かせた。観戦日記は、神宮に行つて次の対戦相手の試合を見させて全員に書かせました。感想でも、対策でもいいし大学ノートに書いて出さないといふ。みんな書いた。僕ははじめにやつた方。すると、朝日の運動部長のところを持つていく。当時の広岡社長のところにも持つていって、一生懸命書くし使えるから使つてくれないかと頼み込んでいます。漫画みたいな世界。

旭化成)や、今イトーヨーカ堂の広報部長の青木君。勝つと飲みに行く。「おっくろろ」とか言つて正門のところまで待つてい。負けると練習でした。

丸山 ええ、エリア戦略やつているから。長野県人はものをしつかり読む。厳しく判断する人が多いですね。朝日もつと売ればいいんだけど。同級生とは、軽井沢の土地持ちの貸別荘で年一回集まります。松尾会。松尾に一蓮托生というような意味で。

丸山 自分で選んだことを最後までやることですね。17才、18才の選択は、それが合つていないか間違つていくかわからないですね。選択の善し悪しは別。ただ中途半端にくずれてしまうと、後に尾を引く場合もあります。練習イコール成功の道。

丸山 丸山さんの言葉だけに説得力がありますね。どうも有り難うございました。

丸山 丸山さんは江川からもホームランを打っていますね。丸山 江川は2年下。私が4年の時、昭和50年春秋明治は優勝しているんですが、その前後はずっと法政の時代。江川を破らなければ優勝はないと。それで徹底した江川対策をやつた。よく講演会でこの話をするんです。どうやって江川を負かせたか。これがうけるんですよ(笑い)。それはデータなんです。江川のボールは7割が高め。そこで、そのうち半分がボールになると仮説を立てて、高めの球を見送ることにした。僕と島岡さんで決めました。マネジャーが「江川の高めのボールを捨てろ」と檄文をかいて、合宿所の壁にべたべたはつて、後は一週間高めの球を見送る練習。実際に試合では高めのボールを振りませんから、フォアボールが出る、塁が埋まってくる。江川も考えます、低めに投げようと。でも練習してないからボールに力がない。こちらの思うとおりでした。

●総会講演者

保屋野初子さん (74期) 紹介

昭和32年上田市生まれ。51年に母校を卒業後、筑波大へ。比較文化を学び、その後フランスへ短期留学し帰国後、出版社勤務を経てフリージャーナリストに。朝日新聞社「アエラムック」学問が分かるシリーズの編集デスクのかたわら、週刊誌、月刊誌にルポ記事などを書き、単行本として出した「水道がつかれかかっている」は水道事業の問題点を突き反響を呼んだ。田中康夫長野県知事の「脱ダム宣言」が波紋を広げる中、4月に「長野の脱ダム、なぜ？」を築地書館から出版、脱ダムの背景を分かりやすく解説し話題になっている。現在、法政大学大学院博士課程で環境、行財政などを中心に研究活動も続けている。



# 会員 短信

東京情報大教授を辞し、同9月から米国ホフストラ大経営学科で組織行動論を教えています。

53期 濱野志め 会報ゆつくり読ませていただきました。内容が充実していると感じます。

56期 竹内 仁 元気に過ごしています。青森県六ヶ所村に展開する原子燃料リサイクル事業も一歩一歩着実に進展しています。省エネ・多様化も必須でしょうが、わが国では原子力はやはり必須の選択肢と心得、いずれの日にかこの選択肢が地球規模でも正当化されることを願って励んでいます。

56期 若林克寿 高校創立百周年本日に喜ばしいことです。歴史と伝統をこれからも伸ばしていくことを期待しています。

56期 山口周 56期の関東での集まりをいつも楽しんでおり、本年は上山田・安中で旧交を温めるなど盛んです。会の発展を祈ります。

56期 松瀬勝雄 母校百周年祝賀会に出席しました。

56期 久保田修 2000年11月に上田に戻りました。在京中はお世話になりました。

58期 服部みどり (旧姓)

41期 清水栄一 昭和17年太平洋戦争開始直後の卒業。18年12月学徒動員、金沢第49部隊入隊、約三ヶ月後志願により水戸陸軍航空通信学校へ転属。航空通信隊下士官として大阪郊外の第14飛行師団司令部へ。原爆におびえながら終戦。上田繊維復学、卒後転々。日大医学部入学、35年卒業。地域医療に大分貢献させていただいたつもり。まだ元気に仕事していますが、子供に歯科と整形外科の二人がいますので、ぼつぼつ仕事を任せるつもりです。

47期 三井芳郎 平素はお世話さまです。パソコン募金、47期分3万円を払い込みました。

48期 堀内惇 松尾倶楽部が11月に第100回例会を迎えます。話題の田中長野県知事をお呼びできないかと考えています。

51期 富岡 昭 12年3月、

石原)自分でデザイン事務所を始めました。

58期 波田野浩 (第39回総会資料の表紙の版画家) 例の作品(表紙を飾った母校の版画)は現在上田高校の校長室の壁に飾られています。上田に帰りまして折に見ていただければ幸いです。

58期 栗原裕 (ペンネーム中丸明、母校OB文庫に5冊寄贈) 一年の半分はスペインで暮らしています。そのことは拙著「スペインひるね暮らし」(文芸春秋社)に書いていますので御笑読ください。面白いと自負しています。

59期 芹沢 功 昨年7月に大蔵省を退職、8月から本田技研本生販在物流管理顧問として第2の人生をスタート。民間1年生として元気で勤務しています。

59期 池内正直 年齢とともに古里の土地、言葉がますます懐かしくなってきました。

60期 中島亨 卒業以来早38年になりました。時々帰省した時に学校へ寄ってみますが、昔と変わらぬ正門の姿にほっとすると同時に、胸にジーンと来るものがあります。

60期 竹倉征司 大阪に単身赴任中です。

60期 竹内和彦 私のホームページ <http://www.Es.shukutoku.dc.jp/fakeuchi/> 高覧いただければ幸いです。

60期 沓掛行徳 上田の同窓会(本部)が正式名簿と考えますので、関東は製本などは簡素な綴りで良いのではと思いますがどうでしょうか。

61期 滝澤雅男 会社を退社して2年半、仕事の頭からやつと本来の頭(?)になりつつあると思っています。一時は英語翻訳中心でしたが、今は油絵製作中心の生活。本年からはZBO活動に注目したいと思っています。2002年のワールドカップの手伝いができればとアプローチ中です。

61期 由井崇 こちら(松本)が長くなりました。将来は北海道に永住する予定でいます。

62期 阿部治 学校の方はすっかりご無沙汰ですが、校内の回りの印象は鮮明に思い出すことができそうです。

63期 飯塚一雄 実は卒業後20数年も同窓会が存在することを知りませんでした。これからは何とかお付き合いしたいと思っています。

64期 春原和民 会社の役員と剣道(7段)で時間を

費やしていますが、同窓会にも参加したいと考えています。

64期 島田彰男 母校の百周年記念式典が行われた10月、戸倉上山田温泉で恒例の647(64期7組)会が盛大に開催され、旧交を温めました。

65期 上原昇 会報64号座談会を読んだ友達から「出ていたな」との連絡をいくつももらいました。

65期 佐藤義雄 友人たちはぼつぼつと第2の人生を考え始めているようですが、老人型社会大学ではちよとど使われやすい年齢(52歳)。研究教育はどこへやら、学部運営(というよりこづかいさん)に忙殺されています。つながりを保てる会誌などの同窓会活動に感謝しています。

66期 清水理 読売水戸支局へ転出しました。2年ほど戻ってくると思ひますので、会報は元の住所へ。

69期 近藤正昭 異業種交流会でも顔を合わせています。会報を楽しく拝見しました。

71期 高木繁 鉄鋼の通商問題を扱っています。世界各地でダンピング提訴が行われるなどとても忙しい時を過ごしています。

72期 福田礼子 (旧姓古

市) 演出・プロデュースの時の名前は古市のまま、よろしく。

75期 和泉洋子(旧姓宮島) 16年ぶりの故郷です。転勤生活で日本中をいろいろ楽しみながら回ってきましたが、今度は落ち着けそうです。久しぶりに母校を訪れ、自分の中で印象が違うことにびっくりしました。

76期 佐藤美恵子(旧姓金子) いつも会報を送って頂きありがとうございます。ますますの発展を祈ります。

77期 細川由美子(旧姓沓掛) 2000年9月に長年勤めたZBOを退職し10月に結婚しました。第2の人生をスタートしています。

80期 小宮千佳子 長女の小学校入学を機に家を買いました。3人の娘の大きな声がひびいてきます。

81期 小野義孝 中学高校交流人事で高校に異動して9カ月。少しずつ慣れてきました。数年後にまた義務校に戻る予定ですが、その間ひたすら勉強です。

83期 両角 達男 静岡大学教育学部にて任しています。学生の中で上田OBにまだ会えないのが残念です。

83期 榎本かおる 在宅で翻訳の仕事を引き受けて

います。





### 三二会開催

31期 土屋 学

86期 山本寛 これまで同窓会に出席できませんでしたが本年はぜひ出席したいと存じます。  
86期 富田比呂美(旧姓荒井) いつも会報ありがと  
(12年6月記)

桜花爛漫快晴の4月10日、第39期クラス会を、新橋の新橋亭にて開催した。我々は、大正3年甲寅年生まれの87歳。昭和2年4月(現在よりもっと大不況だった)入学、同7年3月(満州事変の翌年、大就職難の時代だった)卒業。以来70年になんなんとする紆余曲折の永い永い人生を生き抜いてきた。

上田高校同窓会関東支部は、終戦時、宮坂三吉君の好意で内幸町の彼の会社に事務所を置いて、故矢島五郎君と宮坂君が寝食を忘れて東奔西走し、支部発展に尽くした。その苦勞話に花を咲かせ、往時を懐かしんだ。

最近ではクラスメートも歯の抜けるように欠け、仲間は14名になった。クラス会の参加者は7名前後になり淋しいが、皆まだ意気軒昂だ。

小山一平君(元上田市長、元参議院副議長)は上田から毎年参加し、皆嬉しく、その情熱には心から感謝感激最敬礼だ。

宮坂三吉君は86歳を過ぎて企業経営に活躍、後藤長英君(剣道部主将)は少年に指南中。両君に敬服する。

山口宗吉君は卒業以来69年ぶりの再会だった。肩を叩き合って健在を喜んだ。来年も全員健在で再会することを期し解散した。

(出席者) 小山一平 宮坂三吉  
山口宗吉 後藤長英 澤田光雄 石川 潔 土屋 学

54期 馬場 武彦

### 54期新年会、盛大に開催

54期の新年会は毎年2月に行われているが、今年は2月24日の土曜日、午後4時から42人が参加して開催された。冒頭、昨年の母校百周年の記念募金に際し、わが「ゴシキ(54期会)」が目標(230万円)を遥かに超えて各期の中でも首位に並ぶ成果を挙げたことを倉島彰代表幹事が報告、並々ならぬ協力をしていただいたことに謝辞を述べた(最終募金額は270万円)。

続いて真道茂君が「芸術について」をテーマに、ヨーロッパの彫刻、絵画とこれに関連した芸術化のことなどを短い時間にダイジェストして講演した。こうした催しは昨年、チェコ大使を終えて帰任したばかりの丸山俊二君に「チェコの情勢について」を話してもらってから2度目だが、今後も新年会の定番として同期の仲間からいろいろな話をしてもらい、見聞を広めたいと画策している。

懇親パーティーでは、7月14日(土)の関東同窓会総会で実行委員長を務める沓掛文哉幹事が乾杯の音頭を取り、54期のイベントでは常任プロデューサー的な市河富弘幹事の軽妙な話術と進行で楽しい時間があつという間に過ぎた。しかしこれでは物足りず、20数人が二次会にも参加、寒さをものともせず深夜まで盛り上がり話は尽きなかった。

今年出られなかった皆さんも来年こそはどうぞおいでください。7月14日は実行委員の当番期、関東同窓会にもぜひ参加をお願いします。

新年会出席者は次の通り(50音順)。

- 有賀俊雄 石井光春 石井政雄 石原澄江 市河富弘
- 大池克夫 荻原統夫 尾和俊介 皆瀬森夫
- 河西秀夫 草野和子 沓掛文哉 黒岩千鶴子 倉島彰
- 久昌貴代江 呉公一郎 小市則夫 神津勝重
- 小堺一雄 後藤人三 小林勝利 真道茂 田村朗 土屋章
- 土屋勝俊 土屋重基 寺島重暉
- 中島隆之 馬場武彦 馬場雄二 藤村延魚 古谷隆男
- 保谷野忠 堀内淳義 松井平三 松尾誠
- 丸山俊二 宮入修平 宮澤壮介 山浦輝信 山崎茂幸



Imaginations are free and fun,  
and excitements more wonderful and much greater.

“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

- Mr. Children
- SOPHIA
- BUMP OF CHICKEN
- hiro
- 今井絵理子
- ゆず

株式会社トイズファクトリー  
代表取締役 井出孝光

# ◆母校へのパソコン募金 寄付者氏名

総計187万7,000円。( )内は寄付金額、単位千円。

- ▼31期 土屋学(10) 赤沼進吾(5) 山口宗吉(10) ▼32期 中村礼三(10) ▼34期 神田精夫(5)  
 ▼35期 滝沢正(5) ▼36期 山本五助(5) ▼39期 菊池博(5) 小林良一(1)  
 ▼40期 小林郷司(11) 鈴木一郎(5) 吉田節夫(5) 大塚袈裟信(2) 森山博司(5) 児玉安彦(2) 小林政治(2)  
 佐藤麟也(2) 清水恭平(2) 小林博(2) 井本公一(2) 荻原愈(2) 竹内武弥(2)  
 ▼41期 斎藤好一(4)  
 ▼42期 一括(=高橋祇市代表、30) 六川英夫(5) 大塚順三(3) 岩下実(5) 折田義雄(6)  
 ▼43期 一括(=松園裕代表、30) 向山光男(3) 梅田実(5)  
 ▼44-5期 原嶋佐吉(10) 柳沢廣(5) 武井國憲(3)  
 ▼44-4期 西巻浩(10) 所昭三(5) 柳沢清史(2) 金子健(5) 堀内茂雄(10) 滝沢源平(5)  
 ▼45期 森繁(5) ▼46期 神林常規(5) 滝沢敦美(2) 清水巻郎(10) 水澤博(5) 丸山浩一(5)  
 ▼47期 一括(=30) 伊藤次男(5) 馬場善一(5) 田沢徹(5) 丸山栄一(5)  
 ▼48期 春原寛(10) 中村哲治(5) 堀内惇(5) 相田俊一(10)  
 ▼49期 一括(=21) 小林斉之介(4) 宮坂博(5) 藤原実(1) 小沢泰衛(5) 竹重信幸(3)  
 ▼50期 金井忠雄(10) 五十嵐明迪(5) 水野哲雄(5) 小山洋之介(5) 児玉忠雄(5) 村上政一(6) 滝沢主計(5)  
 花岡巖(10) 山辺孔一(5) 渡邊洋一(10) 平林浩(5)  
 ▼51期 竹内英晃(5) 中島宏(5) 徳永慈宏(5) 六川二郎(5) 田村忠男(5) 六川博輔(5) 山本晏久(5)  
 青島昭久(10) 宮川司(5) 掛川國雄(5) 太田幸男(5) 村田寛(10) 柳沢暁(5) 小胎治雄(5)  
 荒井一男(5) 小野沢哲夫(5) 内久根孝一(5) 倉沢直哉(10) 蒲生卓磨(2) 池田義雄(5) 丸山瑛一(60)  
 ▼52期 一括(=柳沢忠代表、100) 小林孝典(6) 掛川正司(5) 和泉民人(5) 青柳位紗男(5) 笠原明彦(5)  
 掛川十次郎(1) 森浩一(10) 松崎義一(5) 久保治良(5)  
 ▼53期 堀内忠久(10) 高木快雄(5) 武重賢治(5) 浅野井恭(5) 武井淳(10) 中島均(5) 金子節子(10)  
 小林乾泰(5) 山本農夫彦(5) 山辺一磨(5) 山崎達夫(5) 小野沢光矩(5) 服部聰一郎(5) 寺西孝(5)  
 加々井悦郎(2)  
 ▼54期 一括(=馬場武彦代表、100) 丸山俊二(10) 黒川次郎(5) 土屋晃一(6) 荻原統夫(5) 中島隆之(5)  
 宮入裕夫(5) 田村朗(5)  
 ▼55期 塚田忠夫(10) 杓掛勝利(5) 樫野達彦(4) 草間孝(5) 萩原光夫(10) 平野誠(5) 宮島光男(16)  
 土屋英明(5) 関五郎(5) 伊藤典久(10) 堀内良幸(5) 和田守(5) 坂口守夫(5) 2組有志(17)  
 ▼56期 一括(=小平節夫代表、123) 神津進(5) 長坂光登(5) 佐藤英和(1) 内海章緒(5) 白井利彦(5)  
 ▼57期 宮下広勝(10) 宮坂幸雄(10) 清水康弘(5) 小島涉(5) 田村義昭(10) 西尾紀一郎(5) 箱山雍(5)  
 ▼58期 本田祥治(2) 西沢益男(5) 久保田達夫(5) 柴田哲男(5) 城下尚(5) 林嘉市(5) 山辺光一(5)  
 小林慶三(5) 金子親碩(5) 北村尚巳(5) 宮川克彦(5) 寺島紘士(5) 寺島千恵子(5) 中村剛士(5)  
 ▼59期 関根克郎(5) 小林義典(5) 田村功(5) 萩原清人(5) 有賀勝雄(5) 荒井理夫(5) 長谷川久二(5)  
 稲葉茂(10) 谷内一郎(10) 西牧洋一(5) 本郷達郎(5) 中野詔彦(5) 滝沢武朗(5) 関本桂子(5)  
 小林朋晃(5) 櫻井資悦(10) 清水和(10)  
 ▼60期 竹倉征司(10) 清水幸雄(5) 黒沢博身(5) 橋本隆弘(3) 小山比呂志(5) 福嶋宣(5) 中島亨(5)  
 古屋明子(5) 久保柳哉(5) ▼61期 杓掛忠(6) 由井崇(1) 井上剛(5) 市川武伸(5)  
 ▼62期 一括(秋田勇代表、102) 阿部治(5) 岩井重一(10) 柳沢敏雄(5)  
 ▼63期 西沢信幸(3) 成沢三雄(5) 小林諒一(5)  
 ▼64期 宮坂信之(10) 村井次雄(5) 竹内中和(5) 中村豊(5) 田中耕一(5) 成沢広行(5) 石井則男(10)  
 関川哲(5) 宮原泰嗣(5) 松高賢一(5)  
 ▼65期 上原昇(10) 小山雅堂(10) 武澤美佐子(5)  
 ▼66期 田口博(3) 荒井秀人(3) 駒津敏洋(5) 高寺好一(5) 清水道男(5)  
 ▼67期 熊坂文武(5) 龍野秀雄(2) ▼68期 佐々木芳邦(5) ▼69期 柄原重文(5) 古畑克巳(5)  
 ▼70期 温井和彦(10) 池田富士雄(5) ▼71期=高木繁(3) ▼72期=関博明(5)  
 ▼73期=須貝博(5) 黒岩淳子(5) ▼74期=佐藤一雄(1) 大場英昭(3) ▼75期=竹内幸隆(5)  
 ▼78期=渡辺博(5) ▼80期=金井邦夫(1) 松尾淳子(1) 石黒久仁子(1)  
 ▼82期=箕輪博康(3) 長谷川達哉(5) ▼85期=滝沢豊久(5)



# ◆年会費 & 運営基金 納入者氏名

◆平成12年10月15日～平成13年3月31日までの納入者。 ◆氏名の後の数字は、複数年の会費を平成何年まで納入されているかを示しています。 ◆お問い合わせは、事務局・幹事長宮島まで (Tel, Fax 045-864-1664)

●会費の納入にご協力ください。 なお、35期以前の会員は、会費が免除されます。

31期 赤沼進吾17 土屋学 16 34期 眞峰秀雄12 35期 滝澤正28 37期 清水志郎17 39期 大塚唯男12 小林良一12 40期 竹内武弥12 森山博司23 柳沢 喜三郎13 41期 齊藤好一18 柳沢富雄12 42期 岩下實 22 大塚順三12 折田義雄19 丸山仁志13 宮坂民樹12 宮本武 15 43期 向山光男13	44-5期 市川俊夫14 入山 和太次14 小林義徳18 武井國徳17 44-4期 萩原隆 13 金子健 22 小山 令二郎16 高橋昭平16 40期 所昭三 17 柳沢清史12 46期 工藤忠房16 清水巻郎14 滝澤敦美12 丸山浩一17 三井周 12 柳沢義祝18 47期 伊藤次男14 笹井博 31 田澤徹 13 土屋博 17 牧内操 18 宮原信治12 山崎繁廣14	48期 臼田誠人14 川上道輔15 城下 栄三郎16 春原實 23 高柳英治13 宮山栄二18 山本輝彦15 49期 青木 喜久弥14 井出昭 13 上野貞夫13 小沢泰衛15 小林 齊之介14 錢澤未治15 高野郁雄12 竹重信幸14 龍岡櫻 13 田中達夫12 藤原實 13 松岡秀夫17 山岸 萬亀男14 50期 金井忠雄20 児玉忠雄17 滝澤主計18	戸部 登喜一15 花岡巖 25 馬場進吉30 宮原省三32 村上政一13 柳澤洋一13 山邊孔一21 渡邊一雄13 水野哲雄22 51期 青島昭久15 荒井一男14 荒井信明12 市川慶伍20 内久根 孝一 15 掛川國雄15 蒲生卓磨12 小林祐二16 竹内英晃19 徳永慈宏12 成沢誠司28 平井秀男15 宮本忠一13 山邊俊一12 吉澤深二12 六川二郎16 金井高男14 保坂利勝14	52期 青木功 25 青柳 位紗男18 生駒利行19 和泉民人12 稲垣正武13 掛川 十次郎19 小林孝典21 小山堯志27 須藤尚彦14 関正利 15 滝澤泰造13 古河一 33 水澤 富士雄15 片山浩三20 松崎義一14 53期 小野 沢光矩20 加々井 悦郎 18 柏村孝行13 小林乾泰17 杉浦醇一18 須田武久16 武井淳 17 中島均 15	藤森善也13 堀内基三12 堀内忠久16 村松厚 14 芹沢 袈裟三12 54期 黒川次郎14 齊藤智巳14 玉野敏雄14 土屋晃一14 中島隆之12 馬場雄二13 宮入裕夫12 55期 樫野達彦14 杏掛勝利17 田玉尚武13 土屋英明17 宮入 健二郎13 宮島光男14 56期 岡田健治13 笠原征夫23 佐藤英和13 澤尾明夫13 竹内仁 15 平尾充雄18 柳澤義孝14	57期 出澤克久12 桑原恒雄12 篠原秀則16 田村義昭19 箱山雍 30 58期 城下尚15 滝澤一彦12 西沢益男12 本田祥治15 百瀬17 59期 有賀勝雄15 小林義典19 清水和 13 清水紀男13 関本桂子13 谷内一郎12 田村功 12 中野詔彦12 本郷達郎12 山口元彦12 60期 田中誠一13 橋本隆弘12 柳澤直治13 山本哲之14 61期 市川武伸20	井上剛 13 大沢義隆12 尾和正暉20 加賀美 德行 13 杏掛忠 13 由井崇 17 吉田光明12 宮島英紀26 62期 青柳健次15 秋田勇 18 岩井重一25 桑田博幸13 塩入功三12 柳澤敏雄12 63期 小林諒一21 田中稔 14 成沢三雄12 西沢信幸14 64期 春原和民14 竹内中和12 永井信介16 中村豊 17 宮坂信之12 藪原和男12	65期 成沢 美佐子16 66期 荒井秀人12 駒津敏洋16 高寺好一14 67期 熊坂文成22 龍野秀雄13 山下一雄12 69期 関和義 12 土屋文男13 古畑克巳16 70期 池田 富士男12 温井和彦15 71期 高木繁 14 72期 気田夏子16 関雄二12 西田光男16 73期 阿部直彦12 須貝博 13 74期 大場英昭14	佐藤一雄12 清水直人13 76期 佐藤 美恵子15 77期 細川 由美子12 78期 渡邊博 16 79期 飯田範子12 80期 石黒 久仁子12 金井邦夫12 松尾淳子12 82期 田中万盛13 長谷川 達哉 12 83期 榎本 かおる12 85期 滝澤豊久15
---	---	---	--	--	---	--	---	--	--

運営基金拠出者 ▼42期大塚順三 ▼49期井出昭 ▼51期丸山瑛一 ▼52期片山浩之 小山 堯志 和泉民人  
▼56期小平節夫 ▼59期谷内一郎 ▼60期黒沢博身 ▼63期成沢三雄 ▼89期長谷川達哉  
▼65期武沢美佐子 (合計12万円。基金元本累計 855万円。利子含め運営基金合計 1099万9600円)

## ご冥福をお祈り致します (敬称略)

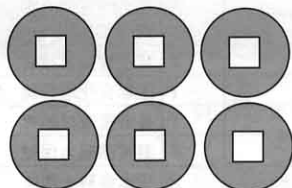
訃報

24期	小林 健道	平成8年4月
26期	上田 政男	12. 11. 21
33期	佐藤 佳良	12. 9. 28
35期	宮澤 敏雄	12. 10. 4
43期	上野 敏雄	12. 4

43期	小林 顕	12. 10. 31
46期	白澤 眞吾	11. 8. 28
49期	坂田 信雄	12. 10. 4
53期	小野沢光矩	13. 4. 22
"	宮下 悦夫	13. 2. 9
54期	浜村希志夫	13. 4. 21
58期	山極邦一郎	12. 8

## 祝会報65号

## 65期 (昭和42年卒業)



荻野 道明	柏木 集保	小山 雅堂
高橋 芳武	滝沢 政視	田村 一平
戸叶 秀晴	西村 賢治	深町 美由
牧野 泉	宮原 豊	村田 政夫
森 則雄	代表幹事 上原 昇 (048-641-7749)	

# リレー随想



土屋 学氏 (31期) より  
中山典之氏 (49期・日本棋院棋士) ヘリレー

## 「新しいろは歌」家元 を自稱

還暦を迎えた日、書斎から何気なく眼下の太平洋を眺めていたら、日本の表音文字である假名四十八字を一度だけ使用して七五調の歌を作ってみたくなった。

いわゆる「いろは歌」であるが、弘法大師作と言われている(実は誤伝で詠み人知らず)。名作の跡つぎをこしらえようという大野心であり、思えばとんでもないことだった。

しかし、この試みが奇跡的に成功し、以来七年間に一千首もの「新しいろは歌」を詠んだとは我ながらあきれ果ててしまう。私の最近の七年間は全て歌作りの為であり、私は棋士でも文士でもなく、実体は歌人であった。

大半の歌は本職である囲碁の歌だが、中には世間様の為に作った歌もあるので一頁だけ紹介しよう。

昨平成12年の秋、熊本県の植木町に招かれ、講演をした。その時、羽田空港から熊本空港までの一時間半のひまつぶしに詠んだのが左記の歌で「うゑき」「ゐしん」などの歴史的假名遣いを知り、西南戦争の田原坂の激戦地が植木町であることなどを知らなければ詠めぬことは勿論だが、同町の方々は大喜びされて、できれば石碑にしたい由であった。

維新に滅び

我を得ず

希望つなげて

兵錬らむ

植木行く稚兒

お供せよ

雨降りやまぬ

田原坂

西郷隆盛の心情を詠む

## 平成12年度 卒業生 及び過年度生 進路状況

現役、浪人合わせた結果は下の表のとおり。なお、現役生だけのデータでは、昨年と比べて、以下の大学の伸びが目立った。(昨年度→今年度) 慶応4→14、早稲田7→11、中央10→18、法政4→11、東北大2→6、千葉大1→5、東京外語大1→6、一橋大0→5



国立計	156	岐阜	3	日本橋学館	1	東京音楽	1	新潟薬科	2	公立短大 計	10
北海道	4	三重	3	青山学院	12	東京家政	4	金沢工業	1	埼玉県立短大	1
弘前	1	京都	3	大妻女子	3	東京家政学院	1	北陸	2	千葉県立衛生短	1
岩手	1	神戸	1	桜美林	4	東京経済	2	帝京科学	1	横浜市立看護短	1
東北	10	広島	1	学習院	1	東京工科	3	岐阜聖徳学園	1	新潟県立看護短	1
秋田	1	長崎	1	北里	8	東京女子	2	常葉学院	2	山梨県看護大短	2
山形	2	公立計	20	共立女子	4	東京電機	5	愛知	1	長野県短大	3
福島	1	高崎経済	4	杏林	1	東京農業	4	愛知学院	1	京都府立医科短	1
茨城	2	群馬県立女子	1	慶應義塾	17	東京薬科	1	愛知歯科	1	私立短大 計	12
筑波	3	埼玉県立	2	工学院	6	東京理科	18	愛知工業	1	埼玉医科大短大	1
宇都宮	4	東京都立	3	國學院	4	東邦	4	豊田工業	1	青山学院女子短	1
群馬	5	東京都立保健科学	1	国際基督教	1	東洋	17	南山	3	川村短大	1
埼玉	4	横浜市立	2	国土館	4	二松学舎	1	日本福祉	6	拓殖短大	1
千葉	5	都留文科	2	駒澤	6	日本	22	名城	2	日本短大	1
お茶の水	3	長野県看護	1	白百合女子	1	日本女子	5	鈴鹿医療科学	2	明治大短大	1
電気通信	1	静岡県立	1	実践女子	2	文化女子	1	京都外国語	1	岐阜医療技術短	1
東京	1	愛知県立	1	芝浦工業	7	法政	20	京都産業	1	大学校 計	4
東京外国語	6	滋賀県立	1	上智	9	武蔵	4	京都女子	1	国立看護大学校	1
東京学芸	3	京都県立	1	昭和	1	武蔵野美術	2	同志社	3	長野県工科短大	3
東京芸術	1	私立計	448	昭和女子	1	武蔵野女子	1	立命館	10	海外計	3
東京工業	1	北海道工業	1	昭和薬科	1	明治	29	龍谷	1	ウエストバージニア	1
一橋	7	北海道医療	1	女子栄養	3	明治学院	7	大阪芸術	2	カリフォルニア州立	1
横浜国立	2	宮城学院女子	1	成蹊	1	明治薬科	3	大阪産業	1	州立モンタナ	1
新潟	11	国際医療福祉	3	聖心女子	1	明星	3	関西	2	専修・各種 計	7
上越教育	1	獨協医科	1	専修	6	立教	11	近畿	1	東京総合理容美	1
富山	2	東京福祉	1	創価	1	立正	5	甲南	1	東京工科専	1
富山医科薬科	1	東京国際	1	大東文化	4	早稲田	17	奈良	1	資生堂美容技術	1
金沢	5	埼玉医科	1	玉川	1	東京工芸大	3	岡山理科	1	国際文化理容美	1
山梨	3	城西	2	多摩美術	2	麻布	1	徳島文理	1	長野医療技術専	1
山梨医科	1	獨協	3	中央	34	神奈川	11	近畿	1	滋賀県総合保健	1
信州	24	文教	4	津田塾	2	関東学院	1	国立短大 計	2	松本歯科大衛生	1
静岡	3	文京女子	1	帝京	4	湘南工科	1	信州医療技術	2	就職 計	1
名古屋	5	神田外語	1	東海	8	マリアンヌ	1			美容院セーラ	